

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成25年3月26日

協議会・構成員	長久手市地域公共交通会議
	長久手市、名鉄バス㈱、愛知高速交通㈱
	交通関係団体、公募市民
	愛知県・中部運輸支局、愛知警察署

事業名	補助対象事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
記載要領	【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設名等を記載】 ※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること	【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】	【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】 A・B・C 記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。 記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。	【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】 A・B・C 記載例①(確保維持事業): 目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載) 記載例②(改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】 ※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	Nーバス	7路線	A 平成23年4月1日の路線見直し以降運行を続けている。	利用者数の目標:H20時点より10%アップ 利用者数の基準:450人/日(H20実績) 利用者数の実績:538人/日(H24.10～H25.02) ※3月は昨年実績からの見込み値で計算 アップ率:19.6%(達成) 昨年度より引き続き、増加傾向で推移している。	連携計画は、来年度が計画期間の最終年度となる。名鉄バスの利用者数と公共交通の推進度の目標が達成できていないため、Nーバスだけでなく、リニモ、名鉄バスを一体考えた連携計画の見直しを行う。また、バスロケーションシステムの導入に向けて調整を行う。 アンケート調査を中心とした住民の意見の反映だけでなく、直接住民の声を聞くワーキンググループを開催し、Nーバスの見直し方針の整理に活かす。 今年度取り組んだ周知・広報活動(かわら版作成、広報紙へのNーバス情報の掲載)は、継続して取り組む。 リニモの長久手古戦場駅や公園西駅周辺で進める面整備を、公共交通の利用者増加に活かすように取り組む。
	中央循環線右回り(名鉄バス)	市役所～市役所		路線ごとの目標はないため、前年度と比べた利用者実績を比較する。 (各年度10月～2月実績)	
	中央循環線左回り(名鉄バス)	市役所～市役所		【中央循環線右回り】 平成23年度:78人/日 平成24年度:82人/日	
	西部線(名鉄バス)	市役所～市役所		【中央循環線左回り】 平成23年度:84人/日 平成24年度:94人/日	
	東部線(名鉄バス)	市役所～市役所		【西部線】 平成23年度:40人/日 平成24年度:39人/日	
	三ヶ峯線早朝便(名鉄バス)	ライスセンター～福祉の家		【東部線】 平成23年度:13人/日 平成24年度:14人/日	
	三ヶ峯線平日便・福祉の家発(名鉄バス)	福祉の家～市役所		【三ヶ峯線】 平成23年度:77人/日 平成24年度:79人/日	
	三ヶ峯線土休日便・福祉の家発(名鉄バス)	福祉の家～市役所			
	三ヶ峯線平日便(名鉄バス)	市役所～市役所			
	三ヶ峯線土休日便(名鉄バス)	市役所～市役所			

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。